

令和6年度 支援教育実践研修A（視覚障がいに関する内容） 実施要項

- 1 目的 視覚障がいのある子どもの教育に関する知識や技能についての認識を深め、一人ひとりの障がいの状態や教育的ニーズに応じた指導方法や指導内容等、実践的な指導力を高める。
- 2 対象 幼稚園、認定こども園、保育所、小・中学校、義務教育学校、高等学校及び支援学校の教員
募集人数 20名

3 日時等

回	日時	主題等	講師等
1	9月25日(水) 9:30~12:30	視覚障がいのある子どもの理解及び指導の実際 ー授業実践から学ぶー [講義・学校見学]	府立支援学校教員等 大阪府教育センター 指導主事等

※太字の時間帯は、通常時間帯と異なるので注意してください。

- 4 会場 府立大阪北視覚支援学校（大阪市東淀川区豊里7丁目5番26号）

Osaka Metro 今里筋線「だいどう豊里」駅下車、西へ約190m

- 5 その他 (1) 受付は30分前から。
(2) 来所時には、所属名・名前の入った名札を着用すること。
(3) 自家用自動車・バイク等は大阪府教育センター及びその他の研修会場に駐車できません。
- 6 担当室 支援教育推進室

令和6年度 支援教育実践研修A（視覚障がいに関する内容） シラバス

1 目的

視覚障がいのある子どもの教育に関する知識や技能についての認識を深め、一人ひとりの障がいの状態や教育的ニーズに応じた指導方法や指導内容等、実践的な指導力を高める。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標															職に応じた指標		
	I			II			III			IV			V			支援学校(学級)		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	1	2	3
第4期																		
第3期										○	○							
第2期										○	○	○			○	○	○	○
第1期										○								
第0期																		

3 研修の主題とねらい等

回	主題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	視覚障がいのある子どもの理解及び指導の実際 ー授業実践から学ぶー	視覚障がいの特性について学ぶ。 視覚障がい支援学校における指導と支援の在り方を学び、子どもの支援に生かす方法を学ぶ。	講義を通して、視覚障がいの特性について理解を深め、指導と支援の方法を考える。 学校見学等を通して、乳幼児期から青年期まで、視覚障がいのある子どもの理解及び指導の実際を知る。	準備物 ・上靴 ・靴袋